

1. 検査当日は予約時間の**20分前**に1階 患者支援センター受付にお越しください（**予約時間を守ってください**）。問診票をご記入のうえ、主治医（検査依頼医）から預かった書類、血液検査結果や画像CDなど併せてお持ちください。
2. 検査前日および当日は激しい運動をしないようにしてください（重い物も持たないでください）。
3. 検査前**6時間は絶食して下さい**（午前中検査では朝絶食、午後からの検査では昼絶食）。糖分を含まない水分（水、緑茶）のみ大丈夫です。糖分を含んだジュース等は飲まないでください。
4. **検査前日の下剤使用、検査当日の糖尿病薬の内服・注射（インスリンなど）、フォシーガ、ジャディアンス、カナグルの内服は原則として中止していただきます。**なお上記とシロップ、ゼリー以外のお薬は、内服していただいて大丈夫です。
5. 糖尿病の方は、検査当日の血糖値が150mg/dl以上の場合正確な検査ができないことがあります。特に空腹時血糖が200mg/dl以上の場合には中止とさせていただきますことがあります。
6. **持続血糖測定器（リブレなど）は、検査時に外していただきます。**
7. 本検査は、原則としてトイレに行く、検査台に上がるなど患者さん自身で行っていただきますので、**車椅子など日常生活において介助を必要とされる患者さんは、検査の間、家族の方などの介助者を要します（検査終了まで約3時間、ただし妊婦や未成年の方は不可）。**また介助者の方もごく少量ですが被ばくを受けます（胸部X線撮影の数回分程度）。介助者が不在の場合は、安全に検査ができないため、検査をお断りすることがあります。**ストレッチャーなど重症患者さんは検査できません。**
8. 検査中は仰向きに寝て動かないでいることが必要です。30分位仰向け寝ていられない場合、閉所恐怖症の方はあらかじめ申し込まれた医師とご相談下さい。
9. ペースメーカー、ICDを使用されている方は、検査当日に手帳を必ず持参してください。
10. 検査に使用する放射性薬剤（FDG）そのものの副作用は非常に低いです。FDGは放射線を出しますが、その被ばくは胃透視1回分程度です。同時に撮像するCTによる被ばく量は、検査の内容に応じて必要最低限の量に最適化します。被ばくによる健康への問題はありませんが、妊産婦の方の検査はできません。
11. 病巣の種類や大きさ（1cm未満など）によっては見つかりにくく、正しく診断できない場合があります。
12. 検査終了後約12時間は乳幼児・妊産婦との接触をできるだけお控えください。
13. **予約の取消しと費用負担について**
検査に使用する放射性薬剤（FDG）は徳島県外の製薬メーカーの工場から患者さん毎に調製され配達されています。また短時間で消滅し非常に寿命が短いため、薬剤到着後（遅くても）2時間以内に使用しなければ効果がありません。そのため、**検査の予約変更およびキャンセルは検査前日の15時まで（土日祝などの休診日を除く）にご連絡ください。**患者様の都合（食事や糖尿病薬の制限が守られていない、遅刻など）での検査当日でのキャンセルや無断キャンセルされた場合は、**使用予定であった医薬品（約5万円）をお支払いしていただきますので十分にご注意ください。**

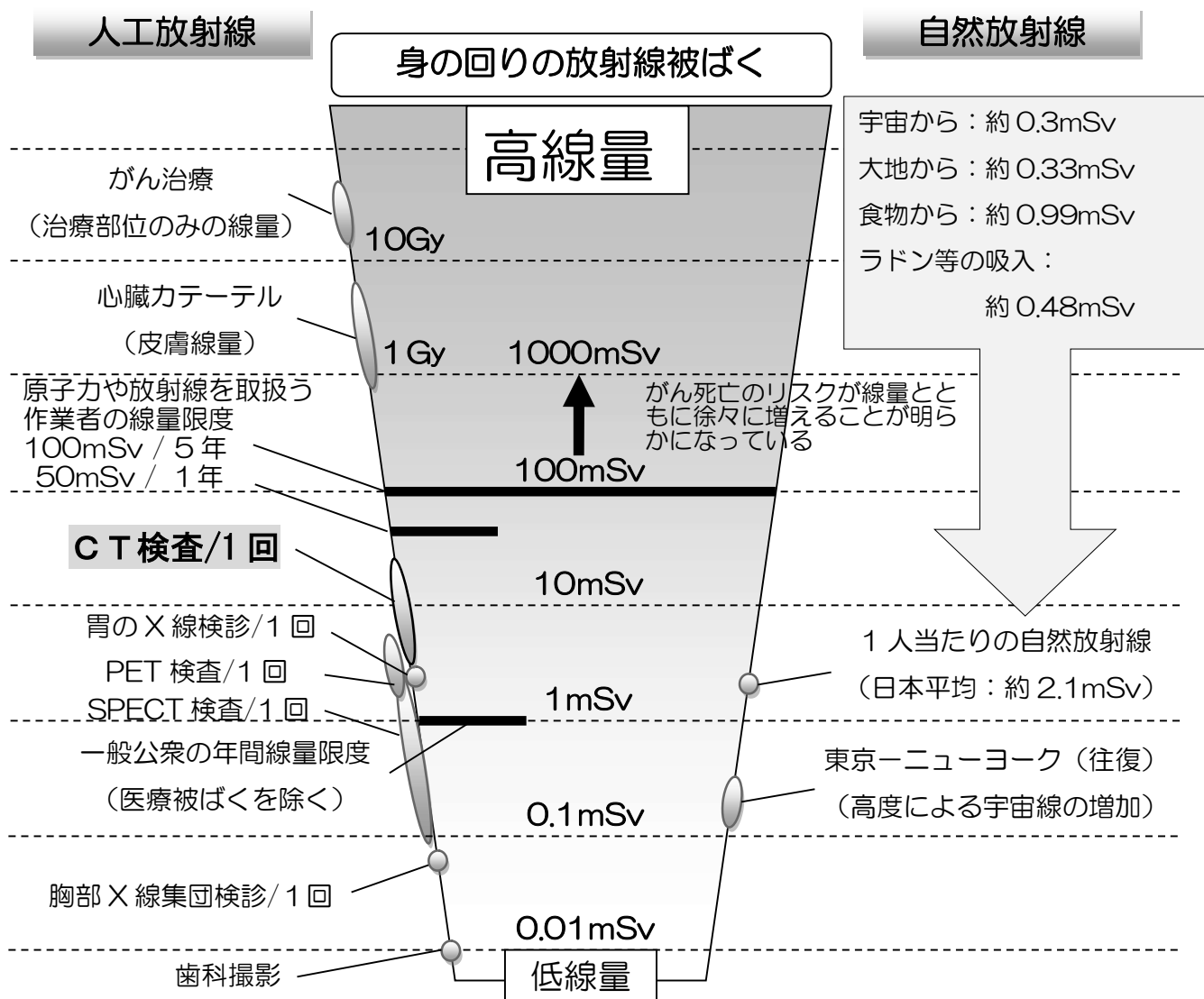
＜連絡先＞ 徳島県立中央病院 核医学検査部門
088-631-7151（内線2281）

1. **検査依頼医より患者さんに、別紙資料を用いて検査の説明をお願いいたします。**
検査申し込み時には別紙、PET-CT検査説明書兼同意書に、**検査依頼医（説明医）と患者さんの署名**をお願いいたします。原則として外来患者さんを対象とします。
2. **検査前6時間の絶食が必要です**（午前中検査では朝絶食、午後からの検査では昼絶食）。糖分を含まない水分（水、緑茶）のみ飲水可とします。末梢、中心静脈栄養についても、検査の6時間前までに糖のっていない輸液に変更してください。
3. 糖尿病の方は、**検査当日の血糖値が150mg/dl以上**の場合、正確な検査ができないことがあります。特に空腹時血糖が200mg/dl以上の場合、診断能の低下から本検査は勧められず中止とさせていただくことがあります。血糖のコントロールをお願いいたします。
4. **検査前日の下剤使用、検査当日の糖尿病薬の内服・注射（インスリンなど）、フォシーガ、ジャディアンス、カナグルの内服は原則として中止していただきます。**なお上記とシロップ、ゼリー以外のお薬は、内服していただいて大丈夫です。
5. **持続血糖測定器（リブレなど）は検査時に外していただきます。**
6. 本検査は、原則としてトイレに行く、検査台に上がるなど患者さん自身で行っていただきます。**車椅子など日常生活において介助を必要とされる患者さんは、検査の間、家族の方などの介助者の依頼をお願いします（検査終了まで約3時間、ただし妊婦や未成年の方は不可）。**
介助者の方もごく少量ですが、被ばくを受けます（胸部X線撮影の数回分程度）。介助者の方へのインフォームド・コンセントも併せてお願いいたします。介助者が不在の場合は、安全に検査ができないため、検査をお断りすることがあります。なお**看護師の頻回のケアが必要な患者さんなど、重症患者さん（ストレッチャーを含む）への検査はできません。**
7. **厳密な保険適応があります**ので、検査担当医がPET-CT適応外と判断した場合は、こちらから連絡いたします。検診や自由診療については当院では行っておりません。
8. **PET-CT検査日には他の受診や検査などの予約を入れないでください。**
9. PET-CTは通常頭頂から大腿基部までの撮像となります。ヨード造影剤は使用しません。
10. 透析患者さんは透析日以外でPET-CT検査をご依頼ください（検査は可能です）。
11. 胃透視、注腸検査などバリウムを用いた検査については、バリウムが排泄される1週間程度の期間において、PET-CT検査をご依頼ください。
12. ペースメーカー、ICDを使用されている方は、検査当日に手帳を必ず持参してください。
13. 検査に使用する放射性薬剤（FDG）はブドウ糖に似た薬であり、副作用は非常に低いです。FDGは放射線を出しますが、その被ばくは胃透視1回分程度です。同時に撮像するCTによる被ばく量は、検査の内容に応じて必要最低限の量に最適化します。被ばく量は低くても、妊産婦の方の検査はできません。
14. **予約の取消しと費用負担について**
検査に使用する放射性薬剤（FDG）は徳島県外の製薬メーカーの工場から患者さん毎に調製され配達されています。また、この薬剤は短時間で消滅し非常に寿命が短いため、薬剤到着後2時間以内に使用しなければ効果がありません。そのため**検査の予約変更およびキャンセルは検査前日の15時まで（土日祝などの休診日を除く）にご連絡ください。**なお患者様の都合（食事制限が守られていない、遅刻等）での検査当日のキャンセルや無断キャンセルの場合は、使用予定であった医薬品の実費（約5万円）をお支払いしていただきますので十分ご注意ください。

＜連絡先＞ 徳島県立中央病院 核医学検査部門
088-631-7151（内線2281）

以上、ご協力よろしくお願いいたします。

身の回りの放射線被ばくの早見図



※図の数値等は放射線医学研究所ホームページを参照しました

主要なPETおよびSPECT検査における被ばく

※下記はPETおよびSPECT検査におけるMIRD法により算出した全身の被ばく量を提示しています。実際の被ばく量は腎機能などにより変動します。PET検査は薬剤からの被ばくに加えてCTによる被ばく(約4mSv)が加算されます。

検査	吸収線量および 実効線量 (MIRD法)	検査	吸収線量および 実効線量 (MIRD法)
骨シンチ(HMDP)	2.4mGy(740MBq)	腎静態シンチ(DMSA)	0.05mGy(小児20kg)
脳血流シンチ(ECD)	0.6mGy(600MBq)	腎動態シンチ(MAG3)	0.1mGy(300MBq)
心筋シンチ(タリウム)	5.1mGy(111MBq)	FDG-PET	1.9mGy(185MBq)
ガリウムシンチ	7.8mGy(111MBq)	アミロイド-PET	4.8mGy(185MBq)
ダットシンチ	2.2mGy(167MBq)	フルシクロピン-PET	2.6mGy(185MBq)